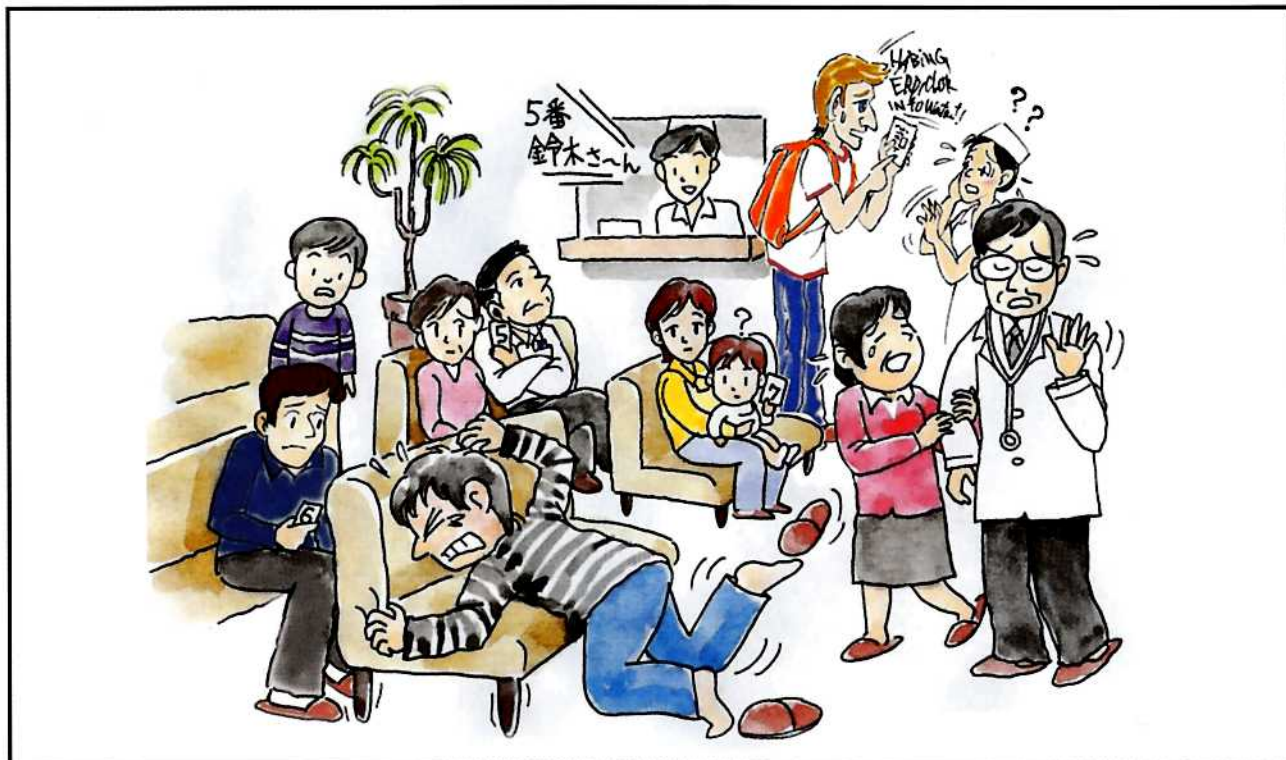
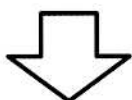


あなたの“やさしさ発見!”

～この絵から感じることを言葉にしてみてください～



この絵を見て、
気づいたことは何ですか？



.....

.....

.....

.....

.....

.....

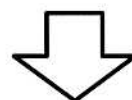
.....

.....

.....

.....

これは、“ほっとけん!”
あなたなら、どうしますか？



.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



私たちが、大切に思っていることです。 一人ひとりの心に“やさしさ”の種をまき、育てていきましょう！



1. 望ましい人間観

あなたのまわりに、障害児・者、認知症の高齢者、不登校の子ども達などをいたずらに好奇の目で見たり、背を向けたりする人はいませんか。これは、知らないことからくる先入観や、どう接していいかわからないことによるものです。偏見、特別視、誤った優越感などは、人間の歴史、社会、理性などに関する正しい知識、理解が不足していることから起こります。幸せな暮らし、社会にするためには、一人ひとりが望ましい人間観を育てることが大切です。

(1) いろいろな人がいることを理解し、認め合うことの大切さ

地球上にはさまざまな人が生活しています。そして、肌の色、生まれた土地、言葉、生活習慣などが原因で、戦争や暴力、差別など悲しいできごとが多く起こっています。こうした悲しいできごとは、私たちの身近にもあります。

(2) 障害について正しく理解することの大切さ

自分で好んで心や体の障害、認知症、学習障害などになる人はいません。また、何かの罰や宿命などの結果でもありません。障害があるなしという見かけではなく、その奥にあるそれぞれの“いのち”のあるがままを肯定する感性と理性に導くことが大切です。

(3) 自立し、社会とつながって生きたいという願いを理解することの大切さ

私たちは、いろいろな人たちとのふれあいを通して感情が豊かになり、生きることの充足感や、生きがいを感じます。社会とつながって暮らすということが人間本来のあり方なのです。障害児・者、高齢者などを隔離するような社会のあり方は、望ましい姿とはいえません。誰もが、社会のなかで自立し、人とふれあいながら、社会生活をおくりたいと思っています。

2. 福祉の心

福祉の心は、人と人、人と社会とのかかわり方の基本です。社会全体が共有すべきものなのです。私たちの日々の暮らしで出会ういろいろな場面が、福祉の心を育てる場になります。

(1) 役に立つことのよろこびを

人は、多くの人との関わり合いの中で生きています。役立つことの喜びを体験し知るとは、関わり合いを実感させ、それを肯定し、自分やまわりの人、社会への前向きな態度を養います。多くの人に役に立つことの喜びを知ってほしいと思います。

(2) 想像できる力、思い合う心を

相手の立場に立って考え、相手の心の動き、よろこび、悲しみなどを想像できる力を養うことが大切です。日常の出来事を使って、他人の心、状況などを想像し、思い合う心を育ててほしいと思います。

※社会福祉法人広島市社会福祉協議会「福祉教育ガイドブック」より



このシートを使って下さい。 “ほっとけん！”を、丈夫な大木に育てるために。



ヒント1 この絵のなかの“ほっとけん！”

受付ができないで困っている人がいる 言葉が通じなくて困っている人がいる 小さな子どもをつれたお母さんがいる 心配そうに見ている人がいる 耳の不自由な人がいる 症状をうまく伝えられない人がいる。

ヒント2 “知的(発達障害等含む)な障害のある人”とのコミュニケーションのポイント

知的障害(発達障害等含む)の人の場合、「コミュニケーションがうまくとれない」「難しいことや危険がわからない」「どうしていいかわからないときパニックになる」など、日常生活にうまく適応できない場合があります。特に、病院ではうまく症状が伝えられないため、強い不安を持つ人がいます。そんな時「ゆっくり」「わかりやすい言葉で」「くりかえし」を基本に、コミュニケーションボード(絵カード、写真等)を使っていねいに対応してあげてください。

ヒント3 “聴覚障害や言葉が通じない人”とのコミュニケーションのポイント

外見からはなかなかわかりません。その人に合わせた方法で正しく伝えましょう。伝わらないときは、わかったふりをしないで、聞き返し確認することが大切です。異文化の言語を使う人の場合も、絵や身振りなどで、相手のことを分かろうとする気持ちをしっかり伝えましょう。

ヒント4 “ほっとけん！”の心で見直すと…いつもと違う

“ほっとけん！”の心で、友だちや家族のことを想像してみましよう。いつもと違う、友だち、家族の顔が思い浮かびませんか。まわりみんなが、あなたの“ほっとけん！”を待っています。

ヒント5 “ほっとけん！”が、お互いが楽しくなる関係作りの出発点

“ほっとけん！”と思うのは、ほかの人のことを感じたり、想像できる力があるからです。その力を養うことが、より良い人間関係づくりにつながっています。“ほっとけん！”気持ちや行為を認め、ほめることは、“ほっとけん！”を育てる栄養素のひとつです。